

- 問1 ASEAN（東南アジア諸国連合）が近年、域内の経済発展を促すために進めている具体的な政策やその状況について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
1. 全ての加盟国で単一の共通通貨を導入し、各国独自の金融政策を廃止してヨーロッパのような完全な経済統合を目指している。
 2. 環太平洋地域の国々と連携し、アジアだけでなく北米や南米を含む広大な自由貿易圏を構築することのみを活動の目的としている。
 3. ASEAN経済共同体（AEC）を発足させ、域内の関税を原則的に撤廃することで、物やサービス、投資の自由化を推進している。
 4. 加盟国を工業国のみに限定し、農業や一次産品の輸出を中心とする国々の加盟を認めないことで、高度な経済成長を維持している。
- 問2 2000年代後半から2010年代半ばにかけてのインドの経済状況において、低所得層の世帯割合が8割弱から3割強へと大幅に減少する一方で、ある特定の層が約2割から6割以上へと急拡大しました。この変化がインドの経済的役割に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。（2018年 広島県公立入試 類似）
1. 所得水準の向上によって商品の需要が増大し、世界的に有力な巨大な消費市場となった。
 2. 中間層の拡大により賃金が高騰したため、外国企業が生産拠点を他国へ移転し、市場が縮小した。
 3. 所得格差が完全に解消されたことで、伝統的な農業を中心とする経済構造へと回帰した。
 4. 国内の需要が著しく減少したため、自国製品のほとんどを海外へ輸出する輸出拠点となった。
- 問3 中国では1970年代後半から、海外の資本や技術を導入して経済を活性化させる「改革・開放政策」がとられました。この政策の展開と、その結果生じた国内の状況について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 経済特区が設置された沿岸部で急速に工業化が進んだ一方、開発の遅れた内陸部との間で大きな経済格差が生じ、社会問題となった。
 2. バンガロールなどの内陸都市を中心にIT産業が急成長したことで、沿岸部の伝統的な工業地帯との格差がほぼ解消された。
 3. 韓国やシンガポールとともに「アジアニース（NIES）」として全土で一斉に工業化したため、特定の地域に偏らない経済発展を実現した。
 4. タイやマレーシアと同様に、政府が内陸部への外国企業誘致を優先したため、沿岸部よりも内陸部の所得水準が高くなった。
- 問4 アメリカ合衆国のシリコンバレーとインドのベンガルールという2つの都市の間では、情報技術（ICT）関連の研究開発において密接な協力関係が築かれています。インドのベンガルールが開発拠点として選ばれている理由のうち、両地点の経度の違いという地理的な条件を最大限に活用した説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 山口県公立入試 類似）
1. インドの労働賃金がアメリカ合衆国に比べて安価であり、開発コストを大幅に削減できること
 2. 両地点が地球のほぼ反対側に位置し、約12時間の時差を利用して24時間体制で業務を継続できること
 3. 英語が公用語の一つであるため、アメリカの技術者と円滑に意思疎通ができること
 4. 両地点が同じ北半球の中緯度帯に位置しており、季節の変化に伴う需要の変動が一致すること
- 問5 東南アジアのインドシナ半島に位置するタイでは、人々の生活や文化に特定の宗教が深く関わっており、世界の宗教別人口構成においても重要な割合を占めています。タイにおいて、国民の約9割以上が信仰している最も主要な宗教は何ですか。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. ヒンドゥー教
 2. キリスト教
 3. イスラム教
 4. 仏教
- 問6 世界の地域ごとの二酸化炭素排出量の割合を示した統計において、排出量が世界全体の53.4%に達し、世界の半分以上を占めている州はどこですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）
1. アジア州
 2. アフリカ州
 3. ヨーロッパ州
 4. 北アメリカ州
- 問7 2015年時点の工業製品の生産統計において、カラーテレビの世界シェアが約47%、スマートフォンが約80%、パソコンが約98%という圧倒的な数値を記録している国について、その背景を説明したものとして適切なものはどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
1. 世界最大の人口を背景とした豊富な労働力を活用し、高度な工業化を推進した結果、電子機器の分野で世界的な供給源となった。
 2. ソビエト連邦の崩壊後、市場経済を導入することで急速に工業化が進み、特に情報通信機器の分野で高い技術力を獲得した。
 3. 太平洋沿岸の好立地を活かして加工貿易を推進し、原材料の輸入から製品の輸出までを一貫して行うことで生産シェアを拡大させた。
 4. 広大な国土を活かした資源探掘と、欧米文化の影響を受けた新しい産業の創出により、パソコンやスマートフォンなどの製造に特化した。
- 問8 鉄鉱石や石炭の産地と製鉄所の分布を示した統計資料において、中国の内陸部に多くの製鉄所が配置されている特徴を説明した記述として正しいものはどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
1. 国内で産出される石炭や鉄鉱石の産地と重なるように製鉄所が立地している
 2. 内陸部の農業地帯に肥料を供給するため、農地に近い場所に製鉄所が分散している
 3. 海外から輸入される原料を加工するため、河川の河口付近にのみ製鉄所が集中している
 4. 石炭の産地から離れた、消費電力の少ない高原地域に製鉄所が集中している
- 問9 日本の主要な貿易相手国の一つであり、地理的に近い位置にある大韓民国の産業の変遷と特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 広大な土地を活かした小麦やトウモロコシの栽培、牛の放牧が中心であり、製造業の発展は限定的である。
 2. 米の二期作を中心とした農業国であったが、近年は外資系企業を誘致することで、衣類や靴などの軽工業が経済の柱となっている。
 3. かつての繊維産業を中心とした軽工業から、造船、自動車、鉄鋼業などの重化学工業や先端産業へと産業構造を転換させた。
 4. 豊富な石油資源や天然ガスを背景に石油化学工業を発展させ、現在はそれらの資源輸出が国内総生産の大部分を占めている。
- 問10 世界の一次エネルギー消費に関する統計において、1990年には全体の約2割であったアジア諸国の割合は、2012年には中国が22%、インドが6%、その他のアジア諸国が6%となりました。これらの数値を合計したとき、アジア諸国が世界のエネルギー消費全体に占める割合として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 長野県公立入試 類似）
1. 約4分の1
 2. 約3分の2
 3. 約3分の1
 4. 約2分の1
- 問11 西アジアや北アフリカなどで広く信仰されているイスラム教の文化において、食事や生活に関する記述として適切なものはどれですか。（2017年 大分県公立入試 類似）
1. 全ての動物の肉を食べることは禁じられており、野菜を中心とした穀物のみの食生活が基本である。
 2. 礼拝は週に一度、金曜日にのみ行われることになっており、場所や方角は自由である。
 3. お酒（アルコール）を飲むことは、砂漠地帯の厳しい暑さをしのぐための文化として教義で認められている。
 4. ラマダーン（断食月）の間は、日の出から日没までの間、飲食を控えるきまりがある。